

世代を超えたノーモニー



25周年記念
北海道少年少女合唱連盟

合唱演奏会

| 賛助出演 男声合唱団ススキーノ |

日 時／2010年1月9日 [Sat] 13:30開演

会 場／札幌市民ホール〈大ホール〉

● ● ● ● 出 演 ● ● ● ●

- 函館少年少女合唱団 ● SSC苫小牧少年少女合唱団 ● 恵庭少年少女合唱団
- BELLA ROSA CORO ● 札幌北野少年少女合唱団
- 石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団 ● 小樽少年少女合唱団 ● 桂岡少年少女合唱団
- NHK文化センター 帯広アドニス少年少女合唱団

主催／北海道少年少女合唱連盟
後援／北海道・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社



ごあいさつ



北海道少年少女合唱連盟
理事長
岩井 照清

新春の雪の中から、今年も北海道の青少年のさわやかな歌声がひびきます。

この合同演奏会も回を重ね、今年は25回目を迎えます。

北海道各地で活動している少年少女合唱団が、年一回札幌の地に集合してコーラスを交流すること、そして四半世紀に及ぶこの活動は本当に意義あるものだと思います。

今年は画期的な事であります、大人の男声合唱団スキーノの皆さんとの応援を得、少年少女のさわやかな歌声と、力強い男声合唱のコラボレーションが北海道の合唱活動にどんなインパクトを与えるかとても楽しみです。

25回の演奏会までに、道内各地の少年少女合唱団は消長をくり返してきました。社会情勢に影響を受ける事が多いのですが、最盛期には合同演奏会に14団体もの参加がありました。現在は最も苦しい時でありましょう。しかし私達はこのさわやかな青少年のコーラスの灯は決して消しません。これは明るい日本の未来を象徴するものだからです。

北海道の文化の一つとしてこれからも活動の歩みを続けていきたいと思っています。



4半世紀を顧みて

北海道少年少女合唱連盟前理事長
顧問 尾田 覚

光陰矢のごとし、昭和61年1月8日に第1回合同演奏会を札幌市民会館で開催して、今年が25回目。連盟の立ち上げに深い関わりをもち20年余りも理事長を務めた私にはこの4半世紀が走馬燈のように目に写ってまいります。

このような中で私の脳裏に焼きついているいくつかの事を述べさせていただきますと、その第1は、連盟の発足は昭和60年11月であります、その前夜ともいえる7月27日に札幌市北区民センターで行った少年少女合唱団の指導と運営についての交流会で討議されたのは、この主題から離れて道内の合唱団からの烈火の叫びともいえる情熱あふれる声で、(1)連盟を早急に組織し札幌で合同演奏会を持ちたい、という事でありました。更にその組織、運営について討議を重ねるうちに組織を更に強固にするためとスムーズな運営を図るために、(2)①著名人を会長に推戴し、そのもとに②事務局をおき、できれば、③毎年助成金を計上してほしい。なおそれにはHBC社が最適と考えるということで、その交渉を私に一任されたのでした。幸いに社長富原氏の北海道の文化に貢献できるならば、と、上記①、②、③を快諾され、11月末正式に連盟が発足したのであります。

第2に挙げたいのは、第1回合同演奏会でありますがこれは前述の昭和60年7月27日の会から僅か半年、予算の裏付けすら全くない綱渡りであったのであります。参加団体8団体、400名余、会場は満席の盛況で各団の熱演と、今も歌い継がれている「グローリア」とペンライト揺らぐ「さようなら みなさま」に万雷の拍手。第1回としては空前の成功で力強い第1歩でこの奔流が連盟発展の基となつたと、思っております。

第3として挙げたいのは、驚くほどの合唱のレベル向上であります。少子化の煽りで各団共団員の減少が続き10名を割るステージを見たこともあります。完璧な頭部共鳴と洗練された技法で会場を魅了……これほどの少人数での高度な合唱には本当に感服したものでした。又、全道コンクールでも大人の中で金賞・銀賞に輝く団もある等、年とともに向上しての現在のレベルの高さには只々感服しております。

連盟はこのように進歩発展を遂げております一方運営面でも大きな底力を発揮しております。それは側面から援助していたHBCが平成19年度で手を引き一切の運営を理事の手で行うようになったのでありますが新事務局の力量は凄まじく、企画全般から後援費の調達、演奏会プログラム等の印刷、DVDの制作、合唱団のOB/OGによる演奏会の司会に至るまでその底力には特に驚異的と感服しております。

最後に事務局運営には合唱団父母の会のご協力と民間の方の協力も頂いております事に深く感謝申し上げ、25回演奏会の成功と連盟の限りない発展を心から願って文を結ばせていただきます。

プログラム

第1部

合同演奏

「だから Sing!」

作詞・作曲：北海道少年少女合唱連盟副理事長 根本 嘉夫
合唱曲編曲：江別市立 江別太小学校教諭 森本 えみ子
ピアノ編曲：札幌北野少年少女合唱団ピアニスト 大松 美貴

指揮：根本 嘉夫
ピアノ：大松 美貴

小樽少年少女合唱団

「さくら」～日本古謡～

編曲：信長 貴富

「一番星見つけた」～わらべうた～

編曲：信長 貴富

「一匁の一助さん」～わらべうた～

編曲：瑞慶覧 尚子

指揮：鈴木 久司
ピアノ：倉岡 紗子

石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団

「きのうにさよなら」

作詞：鈴木 須美子 作曲：東山 正流

「マイバラード」

作詞・作曲：松井 寿夫

指揮：斎藤 みゆき
ピアノ：岡田 友紀

恵庭少年少女合唱団

「Believe」

作詞・作曲：杉本 竜一

「桜ノ雨」

作詞・作曲：森 晴義

指揮：柴山 季治
ピアノ：向井 朋子

NHK文化センター 帯広アドニス少年少女合唱団

「うたえ たからかに」

作曲：フリスト・ネジヤルコフ 訳詞：岩井 照清

「ひなり」

作詞：デミタル・パンテレフ 作曲：アレクサンドル・テケリエフ

「紙の舟」

作曲：ペータル・ストゥペル 訳詞：岩井 照清

指揮：岩井 照清
ピアノ：寺川 博美

男声合唱団スキーノ

「北海道讃歌メドレー」

編曲：浜頭 瑛嗣

〈時計台の鐘〉〈虹と雪のバラード〉〈雪の降る街を〉〈宗谷岬〉〈知床旅情〉
〈恋の街札幌〉〈この青空を〉

指揮：長内 黜
ピアノ：小泉 香織

合同演奏 (合唱:連盟選抜合唱隊・男声合唱団スキーノ)

混声合唱のためのカンタータ「土の歌」より～第7楽章～「大地讃頌」

作詞：大木 悅夫 作曲：佐藤 真

指揮：長内 黜
ピアノ：小泉 香織



第2部

休憩

BELLA ROSA CORO

指揮：岡元 真理子
ピアノ：米山 和子

「はじめてのお祈り」

作曲：BRITTON

「淋しい海辺で」

作詞：V.A.コスケンニエミ 作曲・編曲：マッティ・ヒュエッキ

「Waltzing Matilda」～オーストラリア民謡～ 作詞：A.B.Petetson

桂岡少年少女合唱団

指揮：中島 祥枝
ピアノ：中川 晶子

「カチューシャ」

作詞：M.イサコフスキイ 作曲：M.ブランテル
編曲：松山 祐士 訳詞：関 鑑子

「プリクラースナエ ダリヨーカ」 作詞：ユ.エンチナ 作曲：イエ.クリラートバ

「Laudate Pueri ～子供たちよ 賛美せよ～」 作曲：F.メンデルスゾーン

SSC苦小牧少年少女合唱団

指揮：佐々木 徹
ピアノ：山本 由美子

「心の中にきらめいて」

作詞：田崎 はるか 作曲：橋本 祥路 編曲：源田 俊一郎

「翼を抱いて」

作詞：海野 洋二 作曲：橋本 祥路

函館少年少女合唱団

指揮：信田 誠
ピアノ：岡田 幸子

少年少女のための合唱ミュージカル「不思議の国のアリス」より

「金色の午後」「チクタク遅刻だ」「勇気だしてオー!」「くるくるパーティー」

「コンコンコンチキコンピューター」「さあでかけよう」

作詞：中山 知子 作曲：越部 信義

札幌北野少年少女合唱団

指揮：室内 文
ピアノ：大松 美貴・山田 実波 ギター：澤口 隼

「Sing」

作詞・作曲：J.Raposo 編曲：源田 俊一郎 訳詞：星加 ルミ子

「地球はまるい」

作詞：Hal David 作曲：Burt Bacharach 訳詞：山上 路夫

「翼をください」

作詞：山上 路夫 作曲：村井 邦彦 編曲：若林 千春

合同演奏

指揮：柴山 季治
ピアノ：向井 朋子

「グローリア」

訳詞：津川 主一 作曲：モーツアルト

「さようなら みなさま」

作詞：岡田 陽 作曲：柳沢 昭

合唱団メッセージ

小樽少年少女合唱団

昭和53年3月結成。今年で32年目を迎えます。現団員数は23名です。3月20日(土)に市民センター「マリン・ホール」にて第32回定期演奏会を実施します。この定演をはじめ、本団では春と秋に実施される市民合唱祭にも参加。そのほか過去にロシア・ナホトカそしてニュージーランド・ダニーデンにて演奏会を開催しました。また、隔年ではありますが、会場を持ちまわりながら小樽市・小浜市・川越市・奈良市の4合唱団が演奏交流会を実施しています。今年は8月8日(日)に小浜市で開催されますので、今から張り切って練習に参加しています。

石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団

現在の団員数は15名。うち2名が休団中、さらに今年度で5名が卒団してしまいます。少子化のあおりを受けていますが、それでもみんな元気に頑張っています。

過去数回のオペラ出演で、舞台の上で演じるということを学びました。その貴重な体験を生かし、今年の定期演奏会ではミュージカル「赤ずきんちゃん」をする予定です。メンバーがなかなか集まらない中で、それぞれが自主練習をして少しずつ形になり始めてきました。3月28日には素敵な舞台になるよう、一同頑張ります。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

恵庭少年少女合唱団

今年の恵庭少年少女合唱団はいつもと違います。「Believe」に手話を付けて歌います。多少のズレは温かい目で見て下さい。もう一曲は新しい卒業式ソングになりつつある「桜ノ雨」を歌います。今日はこの2曲を心をこめて歌いますので、耳と目と心で聴いてください。

NHK文化センター 帯広アドニス少年少女合唱団

アドニス、これは学名で福寿草のことです。春一番雪を割って歌の花を咲かせようと願った名前です。合唱団は今年歌い続けて49年の歴史を刻みます。この間、日本各地、世界各国との交流やブルガリアなど海外演奏を経験しています。平成11年よりNHK文化センターの支えで恵まれた練習をしています。

BELLA ROSA CORO

昭和59年より活動を開始しております。今年は、「コーラスフェスティバル」に出演いたしました。フィンランドのメルネス先生から、楽しく歌うコツをならいました。これからも楽しくうつくしい心と声で歌い続けたいと思います。インドネシアのお友だちに教科書を贈って4年目に入ります。いつか会えますように! 歌をもっと心を込めてうたいたい! そんな願いが新しい年を迎えて叶えられますように!



桂岡少年少女合唱団

みなさん今日は。当合唱団は創立31年目にして海外演奏をすることができました(昨年7月末)。ナホトカ市へ小樽姉妹都市使節団(総勢29名)として派遣され通算10回のコンサートを通じ文化交流を果たしました。私達は大歓迎を受けました。ナホトカ市民はとても親切ですぐ仲良しになり、合唱はことばの壁をこえて心が通じ合えることを実感しました。素晴らしい5日間でした。さて本日は第25周年合同演奏会。私達の合唱団は初回から参加しているので感激ひとしお。明るく楽しく演奏したいと思います。
「スパシーバ ザ フショー(すべて ありがとう)」。

SSC苦小牧少年少女合唱団

発足してから今年で8年目。連盟の中では一番若い合唱団です。現在、小3~高3まで29名で活動しています。SSCは、sky·smile·chorusの略で青空に向かって笑顔で歌おう!という願いが込められています。3月21日のファミリーコンサートに合わせて市内の学校の合唱部と合同演奏にも取り組みます。

函館少年少女合唱団

皆さん今日は。私たちは、この合同演奏会を毎年楽しみにしています。いろいろな合唱団の演奏が聞けて、又、私たちの演奏も聞いてもらうことができる。それが冬の合宿の励みにもなり4月の定期演奏会に向けての活力ともなっています。今年は、ペルゴレージの『スタバート・マーテル』や、合唱ミュージカル『不思議の国のアリス』などを予定しております。

今日は、そのミュージカルの一部を、振りやセリフや演技を入れて演奏します。どうぞお聞きください。

札幌北野少年少女合唱団

こんにちは。今年は男子の団員が増えてますますにぎやかです。夏にはPMFコンサートに出演、そして「サマーコンサート2009」では沖縄の音楽に挑戦しました。歌って、踊って、楽しい思い出がまたひとつ増えました。ところで、北野といえばなぜかハプニングがつきもの?! 今日はいったい何が…ドッキドキ。でも大丈夫、どんなことでも笑いに変えて楽しんじゃう私達ですから。いいえ、今日はキメます! だって、大切な合同演奏会25回記念の日ですもの。がんばります!

今日のチャイムは

作曲・演奏 大松 美貴(札幌北野少年少女合唱団ピアニスト)

楽器提供 (株)エルム楽器 月寒営業所

ヤマハ ステージア カスタム

指 導 (株)エルム楽器 エレクトーン講師 増谷 尚実

賛助出演

男声合唱団スキーノ

2004年秋、長内勲先生（当時、北海道教育大学岩見沢校教授、現名誉教授）の指導の下に、僅か11名で結成され、今や団員数80名余り、33歳～74歳の顔ぶれは多士済々。ゆりかごから墓場まで、めでたいことから揉め事まで、すべて面倒を見ることが出来る人達が揃っています。2005年6月のJR北海道本社ロビーコンサートでデビューして以来、カルチャーナイト、北海道男声合唱祭、札幌市民合唱祭等に出演、特に2009年秋の札幌市民合唱祭では「札幌市民芸術祭奨励賞」を受賞。札幌コンサートホールKitara大ホールでは4度の演奏実績があります。また2008年5月には、六本木男声合唱団俱楽部ほか名古屋、長野、新潟の男声合唱団5団体による東京サントリーホールでの「JAMACコンサート：俺たちだって天地を動かす」に出演、その様子はテレビで放送されるなど、恐れを知らないオジ様達はそれぞれの本業同様に真面目に活動し、そして発展し続ける異色の合唱団です。

指揮 長内 勲 プロフィール

北海道学芸大学（現教育大学）特設音楽課程卒業。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院に学ぶ。札幌をはじめ道内各地でリサイタル等を数多く開催し、それらは全国紙、地元新聞にも紹介されいずれも高い評価を得ている。また、合唱指揮者としても活躍し、全日本合唱コンクール全国大会で10度の金賞を受賞するなど全国レベルの活動を続けている。1994年札幌市民文化奨励賞、2001年道銀文化財団芸術文化奨励賞、2004年札幌芸術賞を受賞。現在、北海道教育大学名誉教授、全日本合唱連盟監事、全日本合唱連盟名譽会員、札幌合唱連盟顧問、札幌交響楽団評議員、北海道国際音楽交流協会理事、道銀文化財団評議員、札響合唱団、男声合唱団スキーノ、北海道銀行合唱団各指揮者。

ピアノ 小泉 香織 プロフィール

北海道教育大学札幌校卒業。東京学芸大学大学院ピアノ専攻修了。「05年～'08年夏キジアナ音楽院（伊）にて研鑽を積む。教授推薦により音楽院主催の演奏会、キージ宮殿内ホールにおけるファイナルコンサートに出演。「08年には音楽院より奨学金及びディプロマ名譽賞を授与される。第10回日本クラシックコンクール全国大会入選。日本アンサンブルコンクールにて、第3回優秀演奏者賞、第4回小佐野英子賞を受賞。第12回旭川市新人音楽賞受賞。三岸好太郎美術館ミニリサイタル、札幌市民芸術祭新人音楽会、ジョイントリサイタル（東京、札幌）等多数の演奏会に出演。「09年ソロリサイタル開催。北海道フーゴー・ヴォルフ協会会員。日本歌曲を綴る会「楓の壇」、男声合唱団スキーノ各ピアニスト。こいぬみピアノ教室主宰。棚瀬美鶴恵、大楽勝美、椎野伸一、M.カンパネッラの各氏に師事。